≪ 高校生・世界の架け橋育成事業 ≫

「2026 済州国際青少年フォーラム」 応募要領

この度、北海道と友好協力協定を締結している大韓民国・済州特別自治道から、未来のグローバルリーダーとなる青少年のネットワークづくりを目的とした「2026 済州国際青少年フォーラム」への参加案内がありました。

（公社）北海道国際交流・協力総合センターでは、北海道庁から協力依頼を受け標記フォーラムへ道内高校生を派遣することとしましたので、下記のとおり参加を希望される高校生を募集いたします。

記

１　主　　催

大韓民国・済州特別自治道教育庁

Jeju Youth Forum
제주국제청소년포럼

２　事務局

（公社）北海道国際交流・協力総合センター（以下「HIECC（ﾊｲｴｯｸ）」という。）

３　開催概要

大韓民国／済州特別自治道　令和８年10月27日（火）～ 10月31日（土）

別添「2026 済州国際青少年フォーラム開催要領」のとおり

４　事業内容等（予定）

内 容	日 程	実施内容	備 考
面 接	７月15日（水）	面接（英語審査含む）	オンライン
	８月14日（金）	英文エッセイ提出	
事前研修 2～3回実施予定	９月～10月	ディスカッション練習、カルチャーナイトの準備	原則対面
	10月26日（月）	移動日（前泊）	
済州国際青少年フォーラム	10月27日（火）	オリエンテーション、歓迎レセプション	済州MG研修センター
	10月28日（水）	開会式、基調講演、現地見学、パネルディスカッション	
	10月29日（木）	最終パネルプレゼンテーション、文化体験	
	10月30日（金）	現地見学、閉会式、カルチャーナイト	
	10月31日（土）	移動日　　※後泊が発生する可能性があります。	
	11月	レポート提出	
事後研修 1～2回実施予定	12月～2月	報告会準備（発表資料作成、リハーサル等）	原則対面
報告会	３月	道民に対しての報告会	

※ パネルディスカッションでは、テーマ毎にチームに分かれグループディスカッション等を行います。担当テーマ決定後、英文エッセイの作成があります。

※ カルチャーナイトでは、各参加者がそれぞれの地域の文化を紹介します。

※ フォーラムは全日程、英語を公用語として実施されます。

５　応募資格　※参加者は、次の条件を全て満たす方とします。

⑴ 北海道内の高等学校に在籍する方

⑵ 事前・事後の研修会やフォーラム当日、また報告会など、全てのプログラムに参加できる方

⑶ 心身ともに健康で、国内及び現地での研修に対応できる方

⑷ 他国・地域の参加生徒との交流及びコミュニケーションを積極的に図る意欲が高く、協調性がある方

⑸ 北海道の代表としての自覚を持ち、自己の経験や研修成果を広く周囲へ共有できる方

⑹ 英検２級又は同等以上の英語能力を有していると認められ英語でディスカッションができる方
⑺ 事業参加中、事務局及び指導者等の指示に従い行動できる方

６　募集人数
最大３名

７　応募方法
応募者は、必要な提出書類の全てを記入し、通学する学校の担当教諭へ提出して下さい。
担当教諭は、提出された書類の記載事項をご確認のうえ、令和８年７月13日（月）17:00 必着で次の提出先までメールで送信してください。なお、同一校からの応募は２名までとしてください。
⑴　提出書類（HIECC のホームページ〈www.hiecc.or.jp〉で様式をダウンロードできます）
・応募申請書　（様式チ１、応募者が記入）
・保護者承諾書　（様式チ２、保護者が記入）
・学校長の推薦書　（様式チ３、学校長が記入）
⑵　提出先
・宛先　　（公社）北海道国際交流・協力総合センター／多文化交流部 小田島・松居
・アドレス　exch@hiecc.or.jp
件名に「2026 済州国際青少年フォーラム・応募書類」と記載してください

８　審査方法及び日程
⑴ 書類審査～ 応募書類により審査を行います。
⑵ 面接審査（人物及び英語能力等の審査）～ Zoom ミーティングで面接審査を行います。
面接の日程は７月 15 日（水）を予定（日時等の詳細については、学校経由で別途連絡します。）
⑶ 参加者の決定
上記⑴及び⑵の結果を総合的に評価し、参加者を決定します。また、応募者多数の場合は、書類審査のみで１次判定を行う場合があります。
原則、選考結果は高等学校を経由して結果をお知らせいたします。
※ 選考結果に関する問い合わせにはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

９　費用負担
⑴　応募者の負担 ～ ①パスポート発行手数料、海外旅行保険、個人費用等
②渡航実費：10～15万円前後（新千歳空港～韓国・済州の航空券代として）
※渡航ルートの変更や為替の変動等で、変更となる可能性があります。
※本人都合の事由による途中不参加等が発生した場合の費用の取扱については、HIECC が別途決定します。
⑵　HIECC の負担 ～ 派遣決定後の事前・事後研修等に係る旅費、前後泊が発生する場合の宿泊費
※事前・事後研修の一部は札幌市内での実施を予定しています。遠隔地からの参加者については、札幌までの交通費を当センターで負担します（目安として居住地の最寄駅から札幌中心部まで 100km を超える方）。
⑶　派遣者の済州道内における移動費及び現地滞在費、食事代等は済州特別自治道が負担します。

10　その他
⑴　HIECC 職員（1 名）が引率します。
⑵　参加者決定後、派遣国の諸情勢によっては、安全性を鑑み派遣を中止することもありますので、予めご理解下さい。
⑶　参加が決定した場合、別添開催要領にある４つのテーマから一つを選択し、英文エッセイを作成していただきます。

11　問合せ先
（公社）北海道国際交流・協力総合センター　多文化交流部（担当：小田島・松居）
所在：〒060－0003　札幌市中央区北３条西７丁目 道庁別館 12 階
TEL：011 - 221 - 7840　FAX：011 - 221 - 7845
Email：exch@hiecc.or.jp　　HIECC ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://www.heicc.or.jp
HIECC ホームページ